

B.LEAGUE・日本財団
スポーツ×地域課題解決のまちづくり事業
「まちづくりビジョン」の市長への報告



ターゲット 17.17

2026年3月24日
文化スポーツ観光部
スポーツ振興課
課長 高木 信幸
TEL：924-3448

SDGs ターゲット 17.17 「官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

福島ファイヤーボンズがB.LEAGUE・日本財団スポーツ×地域課題解決のまちづくり事業の一環として検討を進めてきた「まちづくりビジョン（BONDS KORIYAMA FUTURE VISION）」について、福島ファイヤーボンズから市長へ報告を行います。

- 1 日 時 3月27日（金） 午前10時～10時30分
- 2 会 場 市役所庁議室（本庁舎2階）
- 3 訪 問 者 福島スポーツエンタテインメント株式会社
代表取締役社長 西田 創 様
取締役 仲亀 敦 様
ユマニタス株式会社
代表取締役 中島 啓太 様
- 4 対 応 郡山市長、文化スポーツ観光部長、次長

<B.LEAGUE・日本財団 スポーツ×地域課題解決のまちづくり事業>

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（東京都文京区、チェアマン 島田慎二）と公益財団法人日本財団（東京都港区、会長 尾形武寿）は、双方での更なる連携を強化。地域課題解決を推進する取り組み（総額約2.8億円）の2025年度の第一弾として、「まちづくり」をテーマに全国10クラブ約1.1億円となる事業を開始。

福島ファイヤーボンズにおいては、開成山地区体育施設を拠点に、常設型運動プログラム“スポコミュ！”を提供。スポーツを通じて誰でも継続的に通える居場所を創出し、地域ぐるみで子どもの育成とウェルビーイングを支えるまちづくりモデルの確立を目指す。同時に「まちづくりビジョン」策定し、将来的な公共連携の基盤形成を進める。